

新型コロナウイルス感染拡大の状況における大学の対応について(大阪府立大学)

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

2020年度以降、各学期における授業実施方針を大学として策定し、学内ポータルやウェブサイトへの掲載を継続的に教職員へ周知している。外国人教員、留学生等を対象に英語版も同時配信した。

対面授業における感染防止対策を徹底するため、対面授業における感染防止マニュアルを全学的に策定し、感染拡大状況等を踏まえて都度見直しを行いながら運用・徹底を促している。

大阪府立大学高等教育研究開発センターにおいて、オンライン授業の質の維持・向上を図るため、FDセミナーとして「オンライン授業のデザインとすすめかた」「Zoom活用講座」などを実施した。
(<https://www.fd-center.osakafu-u.ac.jp/seminar-top/seminar2020/>)

授業支援システムを活用した非同期型授業配信、教材提供を行った。

オンライン授業を展開する中で、操作方法やトラブル対応などのオンライン授業に関連する学生・教職員からの種々の質問へのサポート体制として、教職協働の「オンライン授業推進チーム」を組成し、支援した。学生に対しては、「オンライン授業推進チーム」で質問に対応するだけでなく、オンライン授業に係る各種情報をまとめた「学修支援情報サイト」を開設し、オンライン授業の受講方法(オン/オフキャンパス共)や受講にあたっての諸注意事項、オンライン授業ツールの解説動画やマニュアルを公開し、学生がオンライン授業を適正に受講するにあたって必要な各種情報にアクセスしやすいように工夫している。

オンライン授業の質保証に向けた全学的な取り組みとして、オンライン授業に係る各種参考情報を集約して紹介する「授業改善に役立つコンテンツ集」を授業支援システム(Moodle)上に作成し、非常勤講師を含む全教員等関係者に向けて公開している。このサイトでは、オンライン授業をデザインする際のポイントや、オンライン授業のコンテンツの作成方法、同期型・非同期型でオンライン授業を行う際の様々な手法や事例、オンラインでの課題・小テスト・試験の実施方法等を紹介しており、オンライン授業に初めて取り組む教員でも一定の質を担保した上で授業展開ができるように、オンライン授業の質保証の観点から全学的に取り組んでいる。

2020年度に実施した「オンライン授業に関する学生アンケート」では、遠隔授業での質問体制の課題が確認されたため、オンラインでのオフィスアワー等の対応を実施するなど、改善すべき課題を把握し対応した。

また、「教員向けオンライン授業アンケート」の結果分析を学内で共有し、改善すべき課題の把握するなど遠隔授業の充実のための教員研修等に活かした。

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

2020年度には、オンライン授業の受講環境整備が経済的に極めて困難な学生に対してノートパソコンとモバイルWi-Fiルーター(20GB/月)の前期・後期授業期間中の貸与を行った。

オンライン授業への切り替え期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からやむを得ない理由により対面授業を欠席したいと申し出た学生に対して、成績評価基準に影響のない範囲で、授業上の配慮を行った。

2019年度まで、対面形式で実施していた、各種相談業務、イベント、セミナー等をオンライン形式に切り替えることにより継続して実施した。

数学質問受付室/理数基礎elearning/レポート書き方講座(学生FD企画)/TOEIC対策講座/楽しむ英会話/English Caféなど

2020年度のオンライン授業導入初期に、学生のオンライン授業受講にあたって、各種ガイダンス実施(Zoom・Teams説明会、Moodle説明動画)などの各種支援を行った。

2020年度に、コロナ禍において経済的に困窮する学生を支援するために、「緊急相談体制」を整備するとともに、大学独自の「緊急支援給付金」を創設。緊急相談体制を通じて、学生の状況を正しく把握し、国の事業である「学びの継続のための学生支援緊急給付金制度」にも多くの学生を繋ぐことが出来た。

学生の健康支援(メンタルヘルスケア)

学生相談室でのカウンセリングを対面からオンラインや電話での面談も可能とした。